

プラン・インターナショナルのご案内

PLAN INTERNATIONAL





誰も置き去りにしない世界へ。

今、世界の問題は、大きく変化しています。
都市人口の急増や経済のグローバル化が引き起こす所得格差、
気候変動に起因する自然災害の頻発と大規模化、さらにテロ、難民、紛争など、
さまざまな問題が絡み合い、貧困の様相も複雑化しています。

プラン・インターナショナルは、80年以上にわたり、貧困のなかにいる子どもや
彼らを取り巻く人々とともに地域の発展を目指して支援活動を行ってきました。
そして、社会がめまぐるしく変化している今、私たちにできてきたのは、
子ども・女性・障がい者など、声をあげる手段も情報も持たない人々が、
以前にも増して「見落とされ、疎外され、取り残される存在」へ追いやられる現実です。

私たちは、有害な慣習や差別意識に変化をもたらす活動、難民支援・災害対策などを通じて、
貧困の根本原因の一つひとつ向き合いながら、
いっそう果敢に取り組んでいこうと考えています。
誰も置き去りにしない世界へ。
それが、私たちの目指す未来です。

プラン・インターナショナルの目標

私たちは、子どもの権利が守られ、女の子が差別されない
公正な社会を実現する

私たちは世界中の人々とともに、以下の活動を行う

1. 子どもや若者・地域社会が、女の子や、疎外され弱い立場にある人々への
差別の根本原因を断ち切り、変革できるよう力づける
2. 子どもたちが直面している課題に対し、私たちの知識や経験を生かして、
地域や国・国際社会が政策や意識・行動を変えていけるよう促す
3. 子どもたちや地域社会が、自然災害や紛争などの危機的状況に備え、
対応し、困難を乗り越えられるようともに働く
4. 子どもたちが、誕生から大人になるまで、安全な環境のもと、
健やかに成長できるよう支える



プラン・インターナショナルの活動と実績

世界70カ国以上で、プロジェクトを実施しています。

※2016年度実績

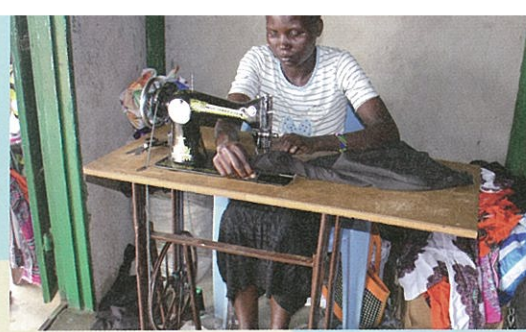
■ 支援国：21 ■ 活動国：53

※コロンビア、インドは支援国としての機能もあります。

家計の安定

生計向上のトレーニングを実施

256,146人



子どもの参加

男の子も含め、ジェンダー平等のトレーニングに参加

161,421人



子どもの保護

コミュニティの人々とボランティアに子どもの保護に関するトレーニングを実施

220,592人

教育

学校建設

2,485校

教師のトレーニング

44,911人

緊急支援

シリア難民を支援

24,080人

南スーダンの国内避難民、隣国への難民を支援

198,444人

水と衛生

水と衛生に関するトレーニングを実施

1,871,695人

家庭用トイレを設置

1,027,581戸

保健

保健の専門家とボランティアをトレーニング

65,511人

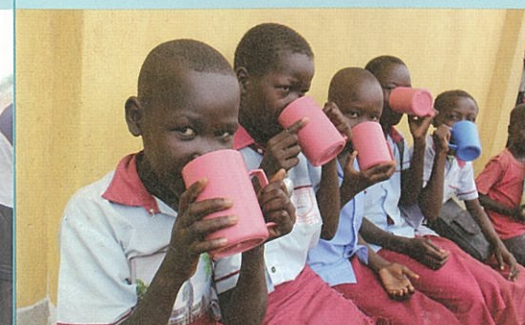
診療所と乳幼児保育施設の建設と修繕

3,454棟

性と生殖に関する健康と権利

子ども・青少年・若者が性教育や啓発活動に参加

1,096,066人





プラン・インターナショナルは、 国連に公認・登録された国際的な組織です。

プラン・インターナショナルは、子どもの権利を推進し、貧困や差別のない公正な社会を実現する国際NGOです。国連に採択された「子どもの権利条約」に基づき、すべての子どもたちが権利を享受し、本来の可能性を発揮できる世界の実現をめざし活動しています。

とくに、差別されたり、過酷な状況に追い込まれがちな女の子や女性への支援に力を入れています。

また、長期的な地域開発を行う一方で、自然災害や紛争などの緊急事態にも迅速に対処します。

国連に公認・登録された組織であり、宗教や政治には、中立の立場をとっています。

日本では、1983年に活動を開始。現在は「公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン」として、

日本国内で寄付を募り、プロジェクトを実施するだけでなく、

国内でさまざまな機関、団体、企業、学校などと連携したり、

開発教育やアドボカシー（市民への啓発活動や政府への働きかけ）などの活動も行っています。

基本データ

プラン・インターナショナル

組織：活動国53カ国 支援国21カ国
 国際本部：イギリス
 スポンサー数：約106万人
 チャイルド数：約137万人
 職員数：10,189人
 収益合計：8億3,280万3,000ユーロ
 主な助成機関：国連児童基金、世界食糧計画など（2018年度）

公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン

支援者数：約6万人
 職員数：職員62人
 ボランティアスタッフ約650人
 経常収益：31億12万9,000円
 主な助成機関：日本外務省、国連難民高等弁務官事務所、世界食糧計画、アジア開発銀行など（2018年度）

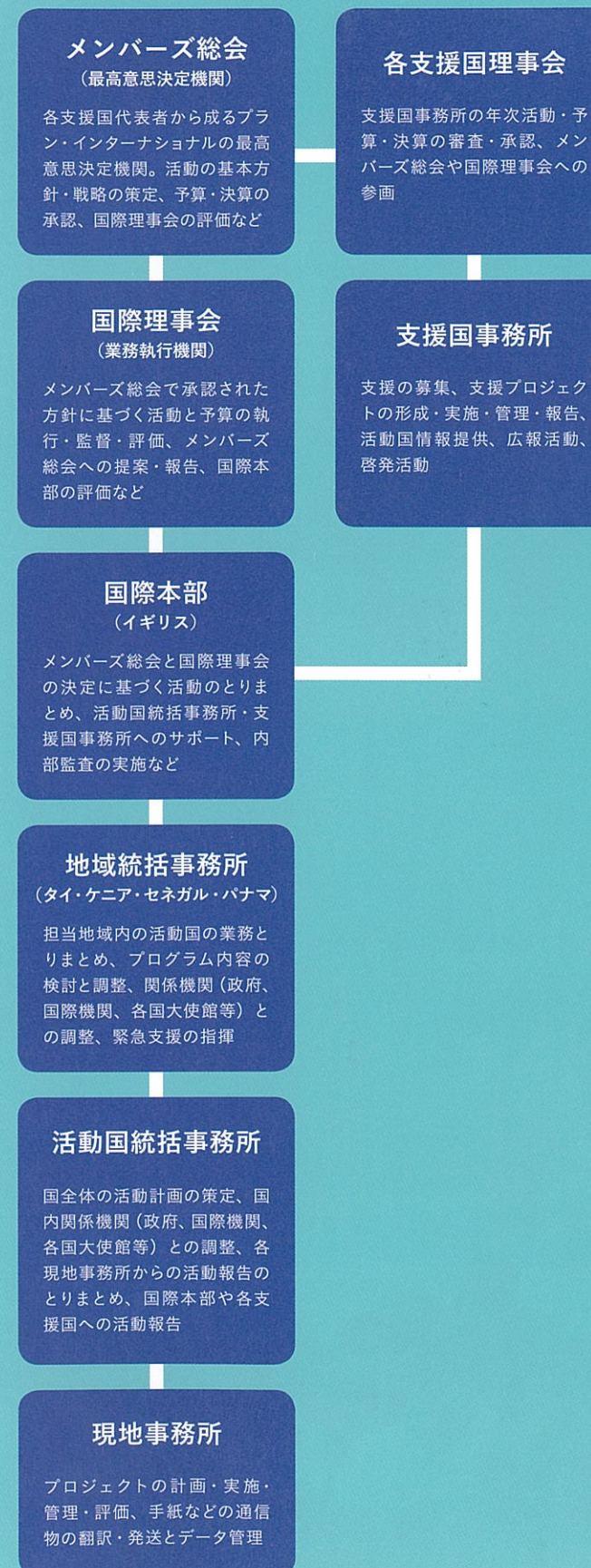
プラン・インターナショナルの歴史

1937年、内戦下で混乱するスペインを取材に訪れたイギリス人ジャーナリストが、現地で5歳の男の子を保護。それをきっかけに、友人とともに戦争孤児を保護する活動を開始したことが、プランの始まりです。その後、保護の対象を、スペインだけでなくヨーロッパ諸国の子どもに、そして孤児でなくとも空襲による被害を受けている子どもたちに拡大。さらに第二次大戦後、社会的・経済的に困難な状況にある子どもたちに支援の対象を広げました。1960年代に入る頃には、子どもの生活環境を改善するための長期的視野に立った活動が始められました。現在は、子どもや若者たちの主体性を尊重し、貧困や差別のない公正な社会の実現のために活動しています。



プラン・インターナショナルの組織

徹底した内部・外部監査体制のもと、
それぞれが役割分担を明確にしながら、
緊密に連携して活動をすすめています。



公益財団法人 プラン・インターナショナル・ジャパン 役員一覧

2019年3月現在

評議員会議長

松井 陽 聖路加国際大学看護学部特任教授

評議員

飯田百合子 トライブルー・ホールディングスPte. Ltd. 最高執行責任者
 一井呉夫 株式会社AMS顧問
 甲斐田万智子 文京学院大学教授、認定NPO法人国際子ども権利センター(C-Rights)代表理事
 河口真理子 株式会社大和総研調査本部主席研究員
 倉林栄一 日本AMC株式会社代表取締役
 佐藤大吾 一般財団法人ジャパングビング代表理事
 株式会社LIFULL Social Funding代表取締役
 税理士
 平 久直 公益財団法人公益法人協会評議員
 轟木洋子 弁護士
 島澤 保 スポーツジャーナリスト、大阪芸術大学教授
 増田明美 読売新聞東京本社常務取締役調査研究本部長
 南 砂 八丈ビューホテル株式会社代表取締役
 宮代昌三

理事長(代表理事)

池上清子 長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科教授
 日本赤十字社理事

副理事長(業務執行理事)

粗 信仁 政策研究大学院大学政策研究院参与

専務理事(代表理事)

棚田雄一 公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン専務理事

理事

大崎麻子 関西学院大学総合政策学部客員教授
 富本幾文 山口大学経済学部教授(特命)兼副学長補佐
 半田 滋 アジア アフリカ インベストメント アンド コンサルティング Pte. Ltd.ダイレクター
 森 和之 前都市総合サービス株式会社代表取締役社長
 安田尚代 外国法事務弁護士

監事

青木雄二 公認会計士
 中田ちづ子 公認会計士、税理士

顧問

川上隆朗 元国際協力事業団(JICA) 総裁



プラン・インターナショナルの特色

子ども、若者の主体的な関与

子どもや若者たちの活動への参加を推進しています。彼らが地域の担い手としての能力を身につけ、地域全体の持続的な自立・発展に寄与することを目指します。

地域に根ざした支援

活動国53カ国に250以上の現地事務所を設置。現場の住民の声や現状を表すデータをもとに、関係者と緊密に連携し、ニーズを反映したプロジェクトをすすめます。

持続性

中・長期の活動方針を策定し、地域開発を実施します。継続的な活動を通じ、地域の人々が活動の成果を持続できる体制をつくります。

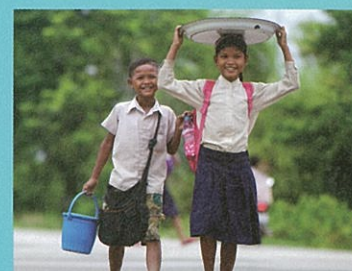
他組織との強いパートナーシップ

現場の人々との草の根的な活動のほか、政府や自治体、他支援団体、企業など、多様な立場の方々とさまざまなレベルで連携することで、より革新的な課題解決を目指します。

宗教・政治に中立的立場

いかなる宗教・政治にも中立的立場をとっています。

プラン・インターナショナルを支援するには



プラン・スポンサーシップ

子どもたち、とりわけ女の子たちの可能性を応援することで、地域全体を豊かに発展させていく活動です。その成果は次世代にまで波及する、持続的な支援です。交流を通じて、子どもたちの人生にエールを送ることができます。寄付額は月々3,000円、4,000円、5,000円から選ぶことができます。



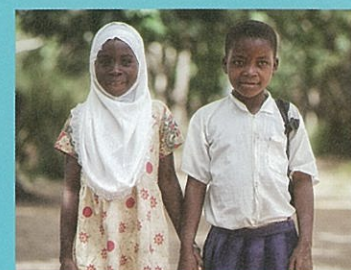
ガールズ・プロジェクト

「早すぎる結婚」「人身売買」「暴力」など、女の子が直面する問題に焦点を当てて解決を目指します。女の子たちをリスクから守ると同時に、自立していくためのプロジェクトを実施します。月々1,000円からの一口単位での継続の寄付と、金額と回数が自由に選べる寄付があります。



グローバル・プロジェクト

「紛争と難民」、「気候変動と災害」、「少数民族」、「障がい」、「弱い立場におかれた子どもの保護」などの今日的な課題解決に必要なプロジェクトを実施します。月々1,000円からの一口単位での継続の寄付と、金額と回数が自由に選べる寄付があります。



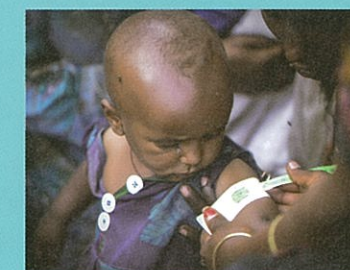
オーダーメイド・プロジェクト

個人または一法人でご支援いただく方法です。活動地域を訪問して落成式などの記念イベントに参加したり、成果物となる施設に記念プレートを設置することが可能です。



一口100万円プロジェクト

個人やグループ、企業などが共同でひとつのプロジェクトをご支援いただく方法です。複数の支援者と一緒に支援することで、活動地域に大きな成果をもたらすことができます。



緊急・復興支援

災害・紛争の発生時から回復・復興期まで、地域の人々を支えます。もっとも影響を受けやすい子どもの保護を最優先に、緊急物資の配布や心のケアから、保健・教育支援までニーズにあわせた支援を実施します。また、災害・紛争下でリスクが高まるジェンダーに基づく暴力を防ぎます。



プラン・インターナショナルと 持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)

プランは、2015年に国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals、以下SDGs)の達成にむけて、準備段階から関わってきました。専門性やネットワークを生かし、すべての活動を通じて目標の達成に取り組んでいます。

とくにSDGsが掲げる「誰一人取り残さない」世界の実現には、女の子の明るい未来を阻む暴力や差別をなくすことが不可欠という立場から、ジェンダー平等(SDGs目標5)に焦点をあてています。



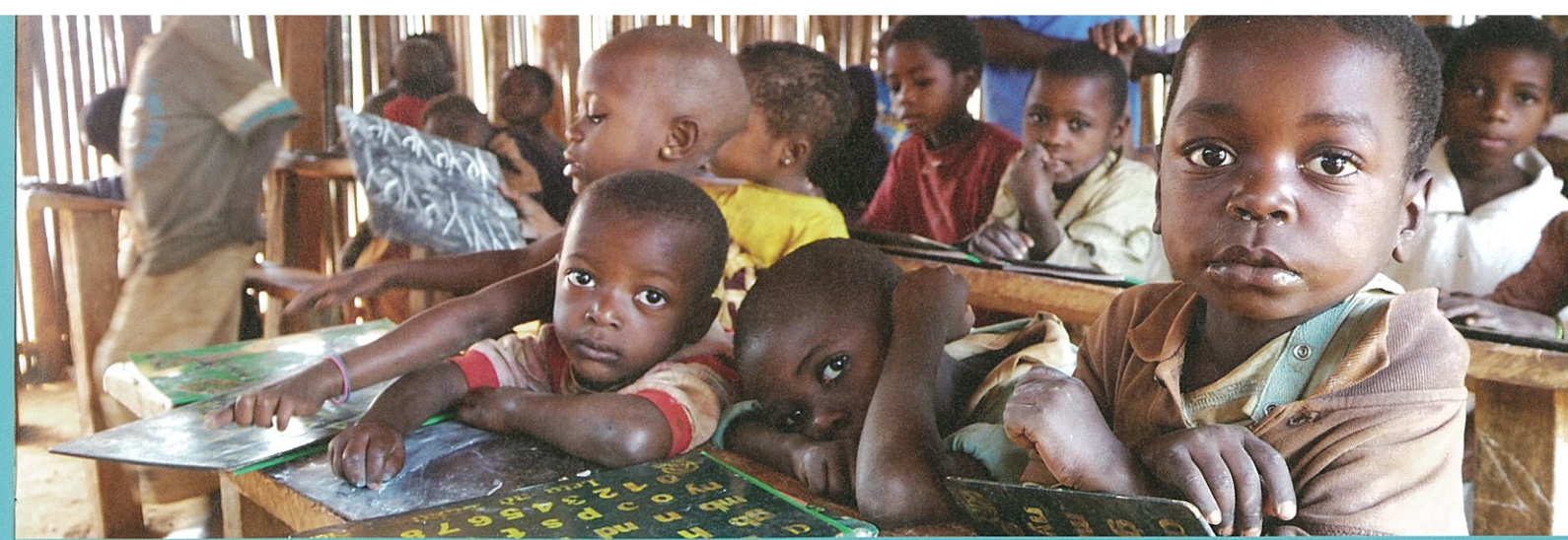
活動の支柱は、「ジェンダー平等とソーシャル・インクルージョン(社会的包摂)」

- 女の子と女性への差別と人権侵害は人道的に見逃がすことができない問題であることと、女の子と女性の可能性を広げることがよりよい社会の実現への近道という考え方にに基づき、女の子と女性の支援を重視します。
- 性別、性的指向、人種、階級、民族、能力、障がいなどに起因するあらゆる差別、排斥、暴力、不平等に反対し、解決のための活動を行います。

世界の女の子に、生きていく力を。



Because I am a Girlは、プラン・インターナショナルが展開するグローバルキャンペーン。女の子を取り巻くリスクから守り、彼女たちが生きる力を発揮できるよう促すことで、貧困や差別、暴力のない世界を目指します。



会計監査を毎年受けています

公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパンでは毎年、関連法規に基づき、本財団監事および外部監査人による会計監査を受けています。さらに理事会ならびに評議員会での承認を経て、内閣府に事業報告および会計報告を行います。支援者、関係者の皆さまには、年次報告書・ウェブサイト上にてご報告いたします。

税制上の優遇措置

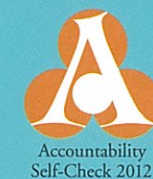
本財団は「公益財団法人」の認定を受けています。本財団への寄付金は、所得税・法人税・相続税・一部の自治体の個人住民税における寄付金控除の対象となり、確定申告を行うことで、支払った税金から還付が受けられます。個人寄付者の方には、毎年1月に前年(1~12月)の寄付金総額を記載した領収証明書をお送りしますので、所得税・個人住民税の確定申告にご利用いただくことができます。相続税申告には、別途書類が必要となる場合があります。法人寄付者の方には、決算月の翌月に、事業年度内の寄付金総額を記載した領収証明書をお送りします。

個人情報保護方針について

本財団で業務に従事するすべての者は、財団理念に基づき、高度情報化社会における情報システムの安全性、及び信頼性の確保に万全を期するとともに、個人情報に関する保護の重要性を鑑み、事業展開にあたってはその取り扱いに適正を期し、個人の権利を侵害することのないように努めます。また、個人情報保護に関する社会全般の意識を啓発するとともに、社会と支援者の信頼に応えるよう努力します。

「アカウンタビリティ・セルフチェック2012」を取得しています

本財団は、国際協力NGOセンター(JANIC)のアカウンタビリティ基準の4分野(組織運営・事業実施・会計・情報公開)について適切に自己審査しています。



Accountability
Self-Check 2012

PLAN INTERNATIONAL

プラン・インターナショナルのご案内

プラン・インターナショナルの目標

私たちは、子どもの権利が守られ、女の子が差別されない
公正な社会を実現する

私たちは世界中の人々とともに、以下の活動を行う

1. 子どもや若者・地域社会が、女の子や、疎外され弱い立場にある人々への差別の根本原因を断ち切り、変革できるよう力づける
2. 子どもたちが直面している課題に対し、私たちの知識や経験を生かして、地域や国・国際社会が政策や意識・行動を変えていけるよう促す
3. 子どもたちや地域社会が、自然災害や紛争などの危機的状況に備え、対応し、困難を乗り越えられるようともに働く
4. 子どもたちが、誕生から大人になるまで、安全な環境のもと、健やかに成長できるよう支える



公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン

〒154-8545 東京都世田谷区三軒茶屋 2-11-22

サンタワーズセンタービル 10F & 11F

TEL : 03-5481-6100 FAX : 03-5481-6200

www.plan-international.jp

